

コード	503030101
記入日	H23.6.10

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	大曾 繁夫

# 事務事業途中評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	社会体育施設管理運営費
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーションの充実	項コード	6
基本事業コード	50303	基本事業名称	スポーツ施設の整備・充実	目コード	2
事務事業コード	5030301	事務事業名称	若松体育施設管理運営費	細目コード	1256
関連計画	法令・条例規則等		新上五島町体育館条例、新上五島町運動公園条例、新上五島町民プール条例		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 施設利用者		(対象指標1)	延べ207,675人			
(対象2) 管理施設		(対象指標2)	44施設			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・ 体育施設44施設の維持管理を行った。 →管理施設 44施設 →保守点検回数 245回 ( 浄化槽 消防設備 電気工作物ほか ) ・ 若松地区 9施設 30回 ・ 上五島地区 6施設 26回 ・ 新魚目地区 11施設 62回 ・ 有川地区 7施設 46回 ・ 奈良尾地区 11施設 81回	① 保守点検回数	245回	100%	保守点検回数245回+ 計画した保守点検回数 245回	***** 平成22年度
		(達成率分析)	計画どおり実施した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・ 住民の健康増進や地域交流の場として利用されている。各地区体育施設の維持管理を行うことで、利用者の安全性や利便性を確保することを目的とする。 【管理施設】 ・ 若松地区管理施設 9施設 (内休止3施設) ・ 上五島地区管理施設 6施設 (内休止3施設) ・ 新魚目地区管理施設 11施設 (内休止2施設) ・ 有川地区管理施設 7施設 ・ 奈良尾地区管理施設 11施設		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① 体育館利用可能日数	356日	99.1%	利用可能日数356日+ 年間開館日数359日	***** 平成22年度
		(達成率分析)	体育施設については、年間を通じて利用できる状態であった。指標については、体育館分を記載している。日数については、有川・奈良尾・新魚目の総合体育館については、大掃除、ワックスかけの3日間開館しなかった。			
		② 体育館平均稼働率	13.18%	39.93%	施設稼働時間6,766h+ 年間開館時間4,667h+ 施設数11+0.33	***** 平成22年度
		(達成率分析)	有川・新魚目総合体育館については、利用者も多く稼働率もよい。指標については、体育館の大体室の年間稼働率を記載している。			

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		21年度以前	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	1,470	1,470	1,225	245	245				
	②									
成果指標	① 日	359	356	356	359	356				
	② %	33.0	13.18	27.54	33.0	13.18				
総事業費 C (A+B)	千円	507,187	502,842	423,617	83,570	79,225				
直接事業費 A	千円	314,687	313,842	266,117	48,570	47,725				
人件費 B	千円	192,500	189,000	157,500	35,000	31,500				
内訳	従事職員数	人	27.5	27.0	22.5	5.0	4.5			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	507,187	502,842	423,617	83,570	79,225				

**評価**

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町有施設であり、町が維持管理を行うものである。また、健康づくり、スポーツ振興の場であり、町のスポーツ活動実践の場である。
	・時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	町の施設である限り、町が維持管理を行わなければならない。また、スポーツに親しませ、体力づくり、健康づくり、競技力向上は不変的なものである。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	町有施設の維持管理であり、適切である。
有効性	・現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	年間を通して利用できる状態にあるが、有川・新魚目総合体育館を除いては、利用が少ない施設が多数あり施設稼働率が落ちる。
	・成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	施設の見直しで成果を向上することができる。管理施設44ある中で、休止・廃止することで経費を削減することができる。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	施設の安全性が確保できなくなり、利用者に多大な影響を与える。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	町内には多数の施設があり、窓口を一本化することはできない。また、分室廃止に伴い支所等に依頼して受付を行っている状況にもあり、これ以上はできない。
効率性	・直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	施設を見直し、休止・廃止することで、経費の削減ができる。(現在、日島・間伏・有福・飯ノ瀬戸の体育館及び上五島中・浜ノ浦小・魚目中・北魚目中の夜間照明施設を休止中)
	・人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	必要最小限度の人件費であるが、スポーツ振興班で一括管理することで人員を削減したので、これ以上はできない。
	・受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	使用料は適正に負担している。

**改善**

改善策	1次評価	妥当性	現在、施設の在り方や統廃合について検討中である。
		有効性	施設を見直すことで効果的な解決が望める。
		効率性	施設を見直すことで経費も削減できる。
		課題に向けた改善策	22年度から分室を廃止し、スポーツ振興班一括管理としているが、草刈等管理費削減で苦慮している。
	2次評価	妥当性	施設についてのあり方、統廃合の検討を進めること。方針が出るまでは適切な維持管理に努めること。
		有効性	施設の維持・管理においては住民の施設使用に支障がないよう十分に留意すること。また、施設のあり方、統廃合の検討は早急に行い方針を示すこと。
		効率性	施設のあり方・運営方法の見直し等、より効率的な利用により経費の節減を図ること。また、施設の管理は適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	
	●			このまま事業を継続
		●		事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。